

児童の受動喫煙状況を可視化する取り組み（尿中コチニン値測定）について

1 趣旨・目的

受動喫煙の健康影響が大きい未成年者については、令和2年4月施行の千葉市受動喫煙の防止に関する条例で、その保護について規定している。

そこで、児童及び保護者が、受動喫煙の状況を正しく理解し、適切に回避行動がとれるよう、児童の受動喫煙状況を可視化する取り組み（尿中コチニン値測定）をモデル的に実施した。

2 対象者

若葉区内の市立小学校20校に通う小学4年生 1,033人

（家庭でタバコを吸っている人がいるかどうかにかかわらず、児童全員を対象とし、保護者に検査希望の有無を確認。）

3 実施時期・内容

令和元年

10月 家庭内の喫煙状況等調査（アンケート調査）

12月 尿中コチニン値測定

令和2年

2～3月 尿中コチニン値測定の結果等の通知
児童へのタバコの煙に関する学習

<保護者>

- ・事前質問票によるアンケート調査

子どもの受動喫煙状況を適切に把握するため、家族の喫煙状況のほか、受動喫煙への意識等を伺った。

- ・結果通知と共に、児童を守るため、「子どものそばでは吸わない」など受動喫煙回避行動等の情報提供を行った。

<児童>

- ・尿検査（尿中コチニン値測定）

尿に含まれるコチニンの濃度を調べ、子どもの受動喫煙状況を客観的に把握して、家庭に知らせることで、受動喫煙の機会を減少させる。

- ・自分を守るための受動喫煙回避行動等の学習（※各小学校の特別活動等の時間に実施）

4 結果概要

(1) 尿検査（尿中コチニン値測定）の結果

尿中コチニン値が5ng/ml以上の児童のうち、93.5%は同居家族に喫煙者がいた。

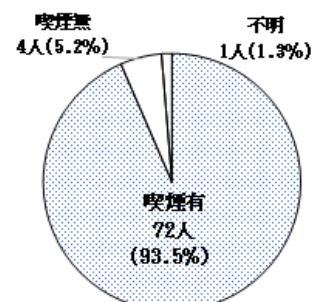
n=757

(人)

コチニン5ng/ml以上(※)	77 (10.2%)
コチニン5ng/ml未満	680 (89.8%)

コチニン5ng/ml以上児童の同居家族の喫煙状況(n=77)

(※) 受動喫煙を受けているとする値を5ng/ml以上と設定



(2) 実施状況

ア アンケート及び尿検査の状況

n=1,033 (人)

アンケート回収	1,002 (97.0%)
尿検査実施	757 (73.3%)

イ アンケート調査

(ア) 喫煙者の有無

n=1,002 (人)

同居家族に喫煙者有	418 (41.7%)
同居家族に喫煙者無	575 (57.4%)
喫煙の有無不明	9 (0.9%)

(イ) 喫煙者の属性 (複数回答)

(人)

n=418

	回答数
父が喫煙	329 (78.7%)
母が喫煙	158 (37.8%)
その他同居家族が喫煙	50 (12.0%)
無回答	2 (0.5%)
(再掲) 父母どちらも喫煙	92 (22.0%)

5 今年度の取り組み

令和2年度は、小学4年生を対象とした尿中コチニン値測定を若葉区及び花見川区の2区(約2,343人)で実施するとともに、令和元年度の尿中コチニン値測定対象児童の保護者に現在の受動喫煙への意識や家庭での喫煙状況等についてのアンケート調査を実施した。

<スケジュール>

令和2年 10月 家庭内の喫煙状況等調査(アンケート調査)

11月 尿中コチニン値測定

12月 児童へのタバコの煙に関する学習

令和3年 2月 尿中コチニン値測定の結果等の通知

《参考》

・尿中コチニンとは

たばこの煙を吸い込むことで体の中に入ったニコチンは、コチニンという物質に変わり、尿中に排泄されます。尿中のコチニン値とは、どの程度の受動喫煙を受けているかを客観的に知る目安となりますが、遺伝的要因やその日の体調、受動喫煙を受けてからの時間等によっても左右されるため、測定値の低さが受動喫煙を受けていないことを示すものではありません。